



平成31年度予算要望書を提出！

平成30年9月12日、公明党さいたま市議会議員団として「平成31年度予算編成並びに施策に対する要望書」を清水勇人さいたま市長に提出しました。

今回の予算要望では、高齢化対策や子育て支援、そして全国的に相次いで起こる大規模災害への防災対策などに重点項目を設けるなどして、10の大項目のなかに57の小項目を配分し、幅広い施策を記載しました。これらの内容は、11名の議員が日常活動から寄せられた声を政策として磨き上げたものです。まさに「現場第一主義」「小さな声を聴く力」を発揮し作り上げた内容となっています。

今後は議会質問などを通して実現を目指してまいります。



（公明党さいたま市議会議員団11名で清水勇人さいたま市長に要望書を提出）

教育センター跡地に公園整備計画を発表！

さいたま市は（仮称）埼玉県立総合教育センター跡地公園（三室）に関して、公園基本計画（ゾーニング等）を公表しました。

計画では、防災機能を備えた公園として、緑の散策ゾーン（防火樹林帯）や多目的広場ゾーン、イベント広場ゾーン、遊びと憩いの広場ゾーン、既存の樹林保存ゾーンやパークPFIを活用した計画となっています。

今後は、近隣住民の意見などを反映しながら、最終的な計画としてコンプリートして行くことになります。



※上記は、現時点でのイメージです。



9月定例会 会派代表質問より

安全・安心な教育環境の整備を目指して！



●民間施設の危険ブロック塀等の撤去費用に助成制度を！

Q 大阪北部地震ではブロック塀の下敷きとなって小学生が亡くなるという痛ましい事故が起こった。これを受けて学校施設については改善が進んだが、民間施設に対する助成制度はなく、現在も危険な状態が散見される。早急に制度創設をすべきと考えるが。



A ブロック塀への助成制度につきましては、国交省が平成31年度の概算要求において、危険なブロック塀等の除去、改修等を行う予算要求が示されました。この支援制度等を十分に研究し、制度創設に向け進めてまいります。

●通学路に防犯カメラの設置を！

Q 本年5月に新潟市で起きた下校途中の7歳の女児が殺害されるという痛ましい事件を受け、国においては「登下校防犯プラン」が発表され、1人で歩く「1人区間」等において「見守り空白地帯」が生じていることから防犯対策の強化として防犯カメラの設置に関して支援して行くことが打ち出されている。本市においても通学路における「見守り空白地帯」の安全対策として防犯カメラを設置すべきと考えるが。

A 新潟での痛ましい事件を受けて、現在、全ての小学校において防犯に主眼を置いた、通学路安全点検を実施しています。この点検を踏まえ教育委員会は学校、警察、関係機関等との合同点検を実施する予定です。防犯カメラの設置については、犯罪の防止や不審者の特定に関して効果が期待できる設備ですので、課題を整理し議論を進めて行きたい。



●LINE「悩み相談」の継続的な実施を！

Q これまで我が会派では、LINEを活用した悩み相談の実施を強く求めてきた。これを受け、現在、さいたま市では、中高生を対象にLINEを活用した悩み相談を40日余りという期限で実施しています。先進事例等を踏まえ、事業継続、通年実施を目指してゆくべきと考えるが。

A 電話や対面相談をためらっている生徒を相談につなげる新たなツールとして、LINEを活用した悩み相談の継続的な実施は、大変重要であると捉えています。今後は、本市の教育相談体制の更なる拡充に向け、今回実施している「SNSを活用した相談体制の構築事業」の成果を十分に検証し、継続的な実施について検討してまいります。



●学校体育館にエアコン設置を図れ！

Q 今夏の記録的猛暑を踏まえ、市立学校体育館へのエアコン設置を決算特別委員会にて強く求めました。

質疑では、神坂が消防局に対して独自調査を行った結果に基づき、その必要性に言及。平成30年4月1日～8月31日に熱中症の疑いで救急搬送された人数は999人（統計を取り始めた2005年以降最多）。なかでも体育館で発生した（疑い含む）、小・中・高校生の搬送状況では、小学生が6名、中学生が9名、高校生が8名の総計23名となっており、体育館へのエアコン設置が人命にかかわる急務であると主張しました。

A 答弁に立った教育委員会からは、学校体育館へのエアコン設置について、「その必要性は認識するものの、普通教室のエアコンの更新時期や特別教室への設置を優先的に取り組んで行きたい」との残念な答弁が繰り返されました。今後も神坂達成は、学校体育館へのエアコン設置に向け、引き続き取り組んでまいります。



都市機能の向上を目指して！

●首都高さいたま新都心線の延伸を！

Q 首都高さいたま新都心線は国の「核都市広域幹線道路」に指定されている。自然豊かな見沼田んぼの環境に配慮しながら、利活用も含め東北道への延伸を進めるべきと考えるが。

A 今後については、高速さいたま新都心線の延伸課題に留意しつつ、様々な機会を通じて、国に対して「核都市広域幹線道路」の計画を早期に具体化するよう要望して行く。



●組合施行の区画整理事業への支援拡大を！

Q 駅周辺などの大規模な整備が注目されているが、郊外部の小規模な土地区画整理事業も様々な課題を抱えている。事業が長期化すればするほど事業環境の悪化が懸念される。早期完成に向けた支援拡大の具体策が必要と考えるが。

A 事業の開始時期、或いは事業規模など地区ごとに違いはあるが、権利者との合意形成を図りながら着実に推進するように支援して行く。また、安心安全で良好な住環境の形成を図るため、今後も、事業が円滑かつ着実に進むよう支援に努めてまいります。



尾間木中学校東門前に横断歩道を設置！

2016年4月、「尾間木中学校の東門の前に横断歩道を設置して欲しい」との声が保護者より寄せられました。

声を届けてくださった方は、子どもが尾間木中学校に通っており、ご自身もPTAの活動を通して子どもたちの通学を見守っている中で、横断歩道の必要性を感じたそうです。

翌日、登校時間に合わせて現地を調査すると生徒たちの危険な状況が確認できました。早速、校長先生や自治会長と相談する中で要望書を作成し、関係所管にお届けしました。また、教育委員会にも現状を説明し早期の実現を働きかけてまいりました。

結果、本年6月に横断歩道設置となりました。これからも子どもたちが安全に安心して通学できる環境整備を進めてまいりたいと思います。



(設置された横断歩道)



(設置前の通学風景)

小学校通学路の信号を5秒間延長！

大牧小学校に通う保護者より「横断途中に信号が変わってしまい危険な場所がある」との声が寄せられました。

早速、下校時間に合わせ現状を確認したところ、信号が青になってから歩き出したのに、点滅を過ぎ、赤になっても渡りきれていない子どもたちの姿が確認できました。

翌日、歩行者専用信号の時間延長を求める要望書を作成し、各関係所管に提出するとともに、現状を記録したDVDも添え、早急な改善を求めました。

後日、「歩行者用信号を5秒間延長しました。」との連絡が届きました。場所は、東浦和駅前通り沿いの附島橋交差点です。

声を届けてくださった保護者に感謝申し上げます。引き続き、安心して安全な通学路の確保に努めてまいりたいと思います。

